



としょかんひろば

本と出会い、人と出会い、仲間が生まれる図書館 2021年2月 第237号

Books are for all 東近江市立永源寺・愛東・湖東図書館

** 図書館カレンダー **

■はお休み（第4金曜日は原則整理休館日）

永源寺
愛東

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

湖東

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

・新井庸子紋切作品展・
本を旅する
世界を旅する
2月25日(木)
～3月29日(月)

** 映画会 **

<永源寺図書館>

2月20日(土) 14:00～16:10

「いまを生きる」(洋画/字幕)

<湖東図書館>

2月13日(土) 14:00～15:55

「名もなく貧しく美しく」(邦画)

** ごぞんじですか **

インターネットで、図書館の資料を検索したり
本や雑誌のバックナンバーを予約することができます。
右のQRコードから、図書館ホームページにアクセス
してみてください。

※予約には図書館で発行するパスワードが必要です

各館の開館時間・連絡先

永源寺図書館 開館：10時～18時
tel:0748-27-8050 IP:050-5801-8050
fax:0748-27-8090

愛東図書館 開館：9時～17時
tel:0749-46-2266 IP:050-5801-2266

湖東図書館 開館：10時～18時
(木曜日のみ20時まで)
tel:0749-45-2300 IP:050-5801-2300
fax:0749-45-3343

図書館ホームページ→



あたらしくはいった本 (永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します)

くらし・健康

新東京珍百景でチルする	新東京珍百景探索隊／編	メデア・パル
東海自転車さんぽ	木村 雄二／著	名古屋：風媒社
純喫茶とあまいもの 京都編	難波 里奈／著	誠文堂新光社
シングルママの「お金に困らない」本		徳間書店
医学全史	坂井 建雄／著	筑摩書房
更年期ホルモンの変調を感じたら読む本	森 裕紀子／著	法研
新型コロナ自宅療養完全マニュアル	岡田 晴恵／著	実業之日本社

『感染症時代のマスクの教科書』 飯田裕貴子&眞鍋葉子/著 小学館

今や私たちの生活の必需品となってしまったマスク。テレビ番組『マツコの知らない世界』にも登場したマスク研究者と、コロナウィルスのある環境を「ペンキ塗リたて」と例える内科医が、予防のために必要な感染症の知識からマスクの種類・着け方・最新情報までを解説しています。ウィルスから自分を、そして周囲の人を守るにはどうしたらいいかが、写真やイラストを交えてわかりやすくまとめられています。『大家さんと僕』でおなじみの矢部太郎さんによる「ペンキ塗リたて」の世界を描いたマンガ『僕とマスクと外の世界』も必見です。



古い家ではじめた、新しい暮らし	主婦の友社／編	主婦の友社
貯金ゼロ知識ゼロ節約ゼロでも大丈夫！“もしも”に備える新しいお金の使い方	清水 香／著	小学館クリエイティブ
リメイクしたらオンリーワンができました。	津田 蘭子／著	ジェイティービーパブリッシング
働くセーター	保里 尚美／著	文化出版局
ローリングストックで！防災にそなえるレシピ	井上 留美子／編	オレンジページ
はじめてでもおいしく作れるリゾット・ピラフ・パエリア	上田 淳子／著	家の光協会
ホームベーカリーで作る高級専門店のパン	荻山 和也／著	主婦の友社
獣医師が考案した長生き猫ごはん	林 美彩／著	世界文化社

社会・教育・福祉

渋沢栄一	橘木 俊詔／著	平凡社
立花宗茂	加来 耕三／著	中央公論新社
近江の神道文化	宇野 日出生／著	サンライズ出版
惟喬親王伝説を旅する	中島 伸男／著	サンライズ出版
コロナの時代を生きるためのファクトチェック	立岩 陽一郎／著	講談社
お経で読む仏教	釈 徹宗／著	NHK出版
地図とタイムラインで読む第2次世界大戦全史	吉嶺 英美／(他)訳	河出書房新社
文在寅時代の韓国	文 京洙／著	岩波書店
老人はAI社会をどう生きるか	平松 類／著	祥伝社

『ママも子どももイライラしない親子でできるアンガーマネジメント』 小尻美奈/著 翔泳社



イライラは、身近な対象であるほど強く感じ、力関係の強い人から弱い人へと向かうもの。そのため、子育て中のお母さんはどうしても子どもに対してイライラしやすくなります。そもそも女性が感情豊かでイライラしやすいのは、大切な子どもを守るためだと言われています。イライラして怒って当然。でも大切なのは、後悔しない怒り方をすること。この本では「頭ストップ作戦」など気持ちを落ち着かせるためのちょっとしたテクニックが多数紹介されています。親子関係だけでなく、様々な人間関係を良好に保つためにも役立ちそうです。

イラストレイテッド日本のおばさん
親の介護をはじめの人へ伝えておきたい10のこと
清水先生の自宅学習相談室
全国厄除け郷土玩具

豊村 真理／著
鳥居 りんこ／著
清水 章弘／著
中村 浩訳／著

バジリコ
ダイヤモンド・ビッグ社
朝日新聞出版
誠文堂新光社

自然・ビジネス・産業

理科年表 第94冊(令和3年)
科学とはなにか
京の大工棟梁と七人の職人衆
トコトンやさしい電線・ケーブルの本
中堅・中小企業のためのテレワーク成功の秘訣

自然科学研究機構国立天文台／編 丸善
佐倉 統／著 講談社
笠井 一子／著 河出書房新社
福田 遵／著 日刊工業新聞社
日経BP日本経済新聞出版本部

『電柱鳥類学 スズメはどこに止まっている?』 三上修/著 岩波書店

道端の電柱や電線に止まっている鳥。私たちがふだん気にもとめない風景の一部です。でもこれを真剣に分析した人がいます。どんな種類の鳥がどこに止まっているのか、そもそもなぜ電柱なのか。よく見かけるのはやはりカラスやスズメですが、足の形状から止まるのに適した鳥とそうでない鳥がいたり、止まる場所も端っこだったり真ん中だったりするようです。また、鳥の巣と電力会社との果てしない戦いにも驚かされます。読み終えた後は、つい電柱を見上げてしまうことでしょう。

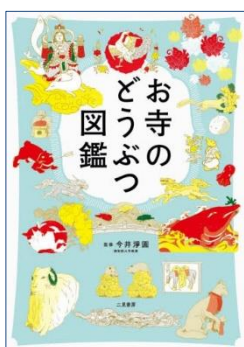


人として生まれたからには、一度は田植えをしてから死のうと決めていました。 藤原 智美／著 プレジデント社
シャインマスカットの栽培技術 山田 昌彦／編 創森社
絶滅危惧個人商店 井上 理津子／著 筑摩書房
メルカリではじめる古着物販超入門 シーナ／著 ラトルズ

芸術・趣味

教えてコバチュウ先生！琳派超入門
写真が映えるデジタル処理のコツ
プロが教えるタイムラプス撮影の教科書
いちばんやさしい水引細工の手習い帖
名作椅子の解体新書
CDとセッション！アドリブいらずのジャズるピアノ ジャズの超定番
ソロ・ギターで奏でる懐かしのJ-POPスタンダード名曲集
「スポーツ万能」な子どもの育て方
関西ヒルクライムコースガイド

小林 忠／著 小学館
桐生 彩希／著 玄光社
成澤 広幸／著 技術評論社
荻原 加寿美／著 ナツメ社
西川 栄明／著 誠文堂新光社
田嶋 道生／編 全音楽譜出版社
小俣 よしのぶ／著 ドレミ楽譜出版社
竹書房
八重洲出版



『お寺のどうぶつ図鑑』 二見書房

お寺の境内やお堂の中にはたくさんの動物が鎮座していますが、それは仏教が古代インドで誕生して以来、動物にかかわるエピソードが多いためだそうです。例えば、①商売繁盛のご利益があるネコは、経典をねずみの害から守るために日本にやって来た、②無病息災のご利益があるウシは、神聖な動物として崇拜され神仏の乗り物とされた、など身近な動物から想像上の生き物まで、様々な動物のご利益や歴史が解説されており、仏教と動物との意外な関係がわかります。明智光秀の菩提寺である西教寺の門には、麒麟が彫られているそうです。動物にも注目してみたら、お寺の参詣がより楽しくなるのではないのでしょうか。

世界の美しい廃城・廃教会
みんなの遊べる軽トラ
世界の鉄道大全集

パイインターナショナル／編著 パイ・インターナショナル
扶桑社
旅と鉄道編集部／編 天夢人

ことば・文学・小説

ほんのよもやま話	瀧井 朝世／編	文藝春秋
今だから読みたい絵本		三栄書房
モヤモヤしている女の子のための読書案内	堀越 英美／著	河出書房新社
ブックオフ大学ぶらぶら学部		夏葉社
声が通らない！	新保 信長／著	文藝春秋
大人だって読みたい！少女小説ガイド	嵯峨 景子／(他)編著	時事通信社
谷崎潤一郎を知っていますか	阿刀田 高／著	新潮社
「細雪」とその時代	川本 三郎／著	中央公論新社
徒然絵つづり百人一首	大田垣 晴子／著	京都芸術大学東北芸術工科大学出版局藝術学舎

『神さまの貨物』 ジャン＝クロード・グランベール／著 河野万里子／訳 ポプラ社

「むかしむかし、大きな森に、貧しい木こりの夫婦が住んでいた。」厳しい冬に加えて大きな戦争もあり、今日の食べ物にも困るような暮らしの中、おかみさんは子どもを授かるよう心から待ち望んでいた。雪の降りしきるある日、彼女の夢をかなえたのは、森を走り抜ける貨物列車だった――

第二次世界大戦下、フランスからおそらく東欧へ向かう線路の側で起こった、ぎりぎりの命のやりとりが昔話のように語られます。人を憎むか、愛することを選ぶか。人として「どう生きるのか」という決断に迫る物語です。



『教室に並んだ背表紙』 本に興味はないはずの彼女が毎日図書室に来るのはなぜ？	相沢 沙呼／著	集英社
『アンダークラス』 外国人実習生の自供は真実なのか。「震える牛」シリーズ第3弾	相場 英雄／著	小学館
『お探し物は図書室まで』 悩める人の立ち寄り図書室、不愛想だけど聞き上手な司書	青山 美智子／著	ポプラ社
『観月』 静かな地方都市で、祭りを前に起こった殺人事件。その裏には巨大な陰謀が	麻生 幾／著	文藝春秋
『バイター』 伊豆の島で発生したウイルス感染症。罹患した者は人の血肉を求める	五十嵐 貴久／著	光文社
『旅路 新装版』上・下 彦根藩の勘定方が惨殺された。妻は敵討のため故郷を出奔し	池波 正太郎／著	文藝春秋
『夢幻』 家康とその子、信長とその子。偉大な父とその後継者たちの相克と両家の因縁	上田 秀人／著	中央公論新社
『今度生まれたら』 70歳、夫の寝顔につぶやく。人生の選択はこれで良かったのか	内館 牧子／著	講談社
『コロナと潜水服』 5歳の息子は新型コロナを感知できる！？ 表題作ほか全5編	奥田 英朗／著	光文社
『傍聴者』 金品を貢がせた上、自殺に見せかけて殺害。男たちはなぜ騙されたのか	折原 一／著	文藝春秋
『騙る』 真贋を看破せよ。だましまされ、最後に笑うのは誰？ 傑作美術ミステリ	黒川 博行／著	文藝春秋
『天を測る』 勝海舟や福沢諭吉と海を渡り、日本の行く末を静かに見据えた男の物語	今野 敏／著	講談社
『サード・キッチン』 アメリカで孤独な思いをしていた尚美を変えたのは、学生食堂	白尾 悠／著	河出書房新社
『元彼の遺言状』 金に目がない敏腕女性弁護士が大活躍。第19回このミス大賞	新川 帆立／著	宝島社
『誘拐ファミリー』 70年もの間誘拐を家業としてきた浅井家。跡目を巡る戦いが勃発	新堂 冬樹／著	双葉社
『処方箋のないクリニック』 患者と家族の一大事。病気でこじれた人間関係にメスを	仙川 環／著	小学館
『妖しい刀剣 鬼を斬る刀』 鬼を滅し、妖獣を斬り、死病まで退治する。名刀の語る怪談	東郷 隆／著	出版芸術社
『姉弟仇討 よろず屋平兵衛江戸日記』 神道無念流の剣で悪を断て。シリーズ第2弾	鳥羽 亮／著	光文社
『沖晴くんの涙を殺して』 津波で家族を失った少年は「喜び」以外の感情をも失った	額賀 滯／著	双葉社
『雪のなまえ』 母は都会で、父と娘は長野へ。「自分」を受け入れてくれる場所を求めて	村山 由佳／著	徳間書店
『しのび恋』 広重、北斎、歌麿……浮世絵から生まれた、男女の喜怒哀楽豊かな物語	諸田 玲子／著	文藝春秋
『神様には負けれない』 25歳で義肢装具士の専門学校に。真のバリアフリーとは	山本 幸久／著	新潮社
『たべる生活』 日々の料理に手はかけず、でも栄養バランスはきっちりと。食エッセイ	群 ようこ／著	朝日新聞出版
『多様性を楽しむ生き方「昭和」に学ぶ明日を生きるヒント』 楽観的で貪欲だった昭和	ヤマザキ マリ／著	小学館
『子どもを連れて、逃げました。』 16人のシングルマザーはいかに生き抜いたのか	西牟田 靖／著	晶文社
『ボブが遺してくれた最高のギフト』 路上で出会った猫とおくる人生の奇跡	ジェームズ・ポーエン／著	辰巳出版

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。